

6月

# 運動会 尾久六っ子!



1年

## 初めてのうんどうかい、がんばった!たのしかった!

1年生にとっては、初めての運動会、かけっこ40m・ダンス「やってみよう!」・ダンシング玉入れの三つの競技に参加しました。3週間前から練習を始めたダンスでは、はじめは動きを覚えることと、速い曲に合わせることに必死でしたが、そのうちにすっかり覚え、楽しみながら笑顔で踊ることができるようになりました。そして、1年生とは思えないくらいのダイナミックな隊形変化にもチャレンジしました。玉入れでは、練習の時の倍くらいの玉を入れることができました。



そのほか、選手が出たりレーや応援合戦、ほかの学年の参観など楽しみました。これからも、たくさんの「はじめて」を経験しながら、どんどん成長していきます。

2年

## きみにきめた!

2年生は運動会で三つの種目を行いました。その中でも特に力を入れたのは表現「きみにきめた!」です。5月に入ってから練習を開始しましたが、初めての振り付け練習から、ボックスステップを踏めたり、サビのダンスを覚えたりと、上手に踊ることができていました。



その後の練習では隊形を移動したり、1組と2組が中央で交互にクロスしたり、体育などで行った短縄やフラフープの中から自分の得意なものを見せたりと、踊りの中にいろいろなものを取り入れました。練習当初はやや難しい部分もあったので不安もありましたが、児童は意欲的に練習に取り組み、繰り返し練習を重ねてきました。その結果、本番ではみんなが心を一つにして素晴らしい演技をすることができました。



3年

## 39人力と心を合わせて頑張った運動会!!

3年生39人、全員がもっている力を発揮して頑張りました。「オー!」というかけ声と共に始まった「みんなで引っぱれ☆」。練習では、毎回勝敗が分かれ、その度に赤組・白組で作戦会議を開き、つなを引く人とお助けの人を入れ替えるなど、協力して本番に向けて練習に励みました。本番では、どちらが勝つかドキドキする熱戦となりました。退場後、子供たちの達成感にあふれた笑顔が象的でした。「80m走」では、カーブで体を傾けることを意識して走ることができました。

4年生と一緒に踊った「尾久六よさこい&The world is ours!」では、初めは、振り付けを覚えることが精一杯でしたが、休み時間も子供たちが声を掛け合って練習し、お互いのよいところやできないところをアドバイスしながら、4年生との練習に臨みました。本番では、腕を大きく振り列を揃えることを意識し、最後のポーズを格好良く決めることができました。中学年となり少し難易度が上がった運動会、本番まで頑張りが続けた毎日は、子供たちの財産です。これからの学校生活に生かしていきたいと思えます。



**4年**

### 本気を見せつけた運動会！！

「疾風怒濤のハリケーン」では、一步間違えれば勝敗に大きく影響してしまうという中で、どうすれば勝てるか、赤白それぞれ作戦を立ててきました。力を合わせ、どちらが勝つのか分からないとても良い勝負ができました。「80m走」では、どうすれば速く走ることができるのか、考えながら練習してきました。本番では、それぞれが自分の力を発揮し、良い走りができました。「尾久六よさこい&The world is ours!」では、高学年として3年生を引っ張りながら、心を一つにして練習してきました。音楽が流れるとついつい踊りだしてしまうほどダンスが大好きな子供たちですが、本番ではみんなに自分たちの格好良さを見せつけようと、今までで最高のダンスができました。まさに、スローガン通り、本気を見せつけることができた運動会でした。



**5年**

### 見せつけよう！尾久六ソーラン2018！

5年生は、「尾久六ソーラン2018」でソーラン節を踊りました。練習では、上手に踊れている人のビデオを観て、どうしたら格好良く踊れるかを考えました。また、自分たちで声を掛け合っ、より良くするためにはどうしたらよいかも考えながら、練習してきました。練習を重ねるにつれ、どんどん腰を下げることができ、格好良いソーラン節となりました。本番でも、堂々とそして格好良く指先まで意識して踊り、どこのお祭りに参加しても恥ずかしくない大迫力の踊りをすることができました。最後は、「やりきった！」という表情で退場門まで走ってきました。



係活動で運動会に向けての準備や会の進行で役割を果たすことができ、高学年として立派に仕事をすることができました。

**6年**

### 最後の運動会、100点満点！！

6年生にとって最後の運動会でした。今年の表現は組体操だけでなく、集団行動も行いレベルの高い演技をしようと4月から練習を始めました。初めは横の人と歩幅を合わせて行進をすることも難しく、本当にできるのだろうか不安になることもありましたが、子供たちは、20分休み、昼休み、放課後とできるようになるまで練習を行い、技ができるようになると、とても嬉しそうでした。一番難しかったのは1組と2組が全員で行う“クロス行進”の技でした。今年のテーマは「心を一つに」でしたが、これこそ全員が心を一つにしなければできない技でした。本番では、今までで一番きれいに“クロス行進”を行うことができ、今回の表現を通して学年で心が一つになったと感じました。

また今回は、6年生として係や委員会、様々な場面でリーダーとなって準備や当日の活動を行いました。練習や自分の係の仕事を両立し、どちらも本当によく頑張っていました。この力をこれからの学校生活や行事に生かしていきたいと思います。

